

# あしたのあさひ

～ P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

## 新年を迎えて

新年、おめでとうございます。今年度も旭高校の P T アクションに、意欲的に活動されている皆様のご協力に感謝申し上げます。今年度からコミュニティ・スクールに指定され、今まで以上に地域の方のご協力をいただいておりますが、保護者の皆様の支えは無くしてはなりません。これからも学校の情報を発信してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

## 国際交流の拡大

12 月 12 日に韓国の木浦(モッポ)第一女子高校が、昨年に引き続き本校を訪問してくれました。授業、昼食、部活動を一緒に過ごすことで、いろいろな話ができたとおもいます。交流は相手のことを理解することから始まります。会話から文化の違いなどに改めて気づいたことでしょう。そして、自分の考えをしっかりと伝える力が必要です。とは言え、同じ高校生として、身近な話題で盛り上がっていました。これからも多くの機会をつくっていきます。さらに、ご家庭のご協力が得られれば、ホームステイを通じた交流を進めていきたいと考えています。

## 教育委員会生徒表彰

今年度も、県教育委員会から、旭高校の企画実行委員会と美化委員会が表彰されました。これまでは部活動や生徒会、ボランティア活動の受賞でしたが、委員会活動も認められ、これからの本校が、さらに成長できるきっかけになると期待しています。

## 校長の思い、育てたい力

これまで、「常にひとつ上を目指す」「考えて行動する」と繰り返し伝えてきました。多くの生徒が意識し、成果も出ています。この二つの言葉を活かし、社会で活躍するために、「伝える力」を身につけてほしいと考えています。授業の研究発表を始め、部活動を通して得たことなど、高校生らしく多くの方に伝えることができる力を育てます。始業式では、美化委員長から素晴らしいスピーチがありました。これまでの感謝と、これからの思いが良く伝わったと思います。そう、旭校生は立派に話ができるのですから。